

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年9月23日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2774500447		
法人名	社会福祉法人 泉ヶ丘福祉会		
事業所名	泉ヶ丘園グループホーム		
所在地	大阪府泉佐野市日根野5565-136 (電話) 072-467-2160		
評価機関名	特定非営利活動法人 カロア		
所在地			
訪問調査日	平成19年9月20日	評価確定日	

## 【情報提供票より】 ( 年 月 日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成 12年 4月 1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	8 人 常勤 6人, 非常勤 2人, 常勤換算 8.9人

## (2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	3階建ての 1 2階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	1,000 円	
敷金	有 ( 円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	150 円	昼食	350 円
	夕食	300 円	おやつ	円
	または1日当たり		円	

## (4) 利用者の概要 ( 9月 6日 現在)

利用者人数	18名	男性	0名	女性	18名
要介護1	0	要介護2	10		
要介護3	3	要介護4	3		
要介護5	2	要支援2			
年齢	平均 85.8歳	最低	79歳	最高	95歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	永山病院 佐野記念病院 大野歯科医院
---------	--------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

・高齢者施設の他、障害者施設、保育施設があり総合的な福祉サービスを展開されています。法人内でそれぞれのノウハウを共有し取り組みをされていると感じました。法人内での交流も盛んで、合同行事や旅行などもあり、他部署職員や利用者とも馴染みの関係ができています。また、必要なサービスを受けられる様、連携を持ちながら総合的に支援する体制ができています。各職員の意識も会議や勉強会も行われ一貫しており、同じ意識の中で取り組まれています。

・自然に囲まれた地域であり、ホーム横に川や桜並木、周囲には山があり年間を通して季節を感じながら過ごされています。また、法人敷地内に農園があり、職員と協働で手入れや収穫をしたり、収穫した野菜が食卓に並ぶ事も日常的に行われています、また、昼食が花見になるなど、入居者の意見を最大限尊重し、その人らしい生活が送れ

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価での料理などを一緒に作る機会を増やす事について、野菜の下ごしらえ、漬物作り、料理など職員と協働でしており、入居者の出来る事をうまく引き出しています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)  リーダー、計画担当者が中心となり自己評価を作成されています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)  2か月に1回開催。職員会議で報告、検討改善をされています。また、その中で話し合われた内容をホーム内にも掲示し面会のご家族も閲覧が可能となっています。その他、職員会議の他、勉強会も充実しており、法人理念の下、入居者の生活をよりよいもの出来る様取り組まれています。
	重点項目③ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 面会時や行事でご家族に日ごろの様子を伝える事や、機関誌発行によりホーム内の生活の様子を伝え相互理解に努めております。また、意見箱の設置、苦情受付対応者の明示もあり、受付環境を整えています。また、職員会議や勉強会などで話し合う場が多くあり運営に反映されています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 同一法人の特養や障害者施設が長年運営をされており、地域との関わりは深く、自治会の行事参加や地域の老人会のお誘いなどがあります。また、法人の行事の地域への案内も積極的にされており、関係は良好といえます。また、運営推進会議でも積極的な意見のやり取りが行われています。

## 2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	和（すこやか・ゆたか・なごやか・あんしん・いたわり・やさしさ）の理念の下、利用者の人格。人権を尊重しています。健康安心豊かなサービスを提供し抑制の無いやさしい介護をめざします。と方針もしっかり持たれておられています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は名札の裏面に理念をいつでも確認出来る様携帯し、職員会議、研修等でも理念に沿った運営を行う様周知されています。また、機関誌にも記載され施設の理念・方針を明確にしています。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	グループホーム開設以前から、老人ホームなどの運営をされており、施設主催の盆踊り大会等行事に地域住民のお誘い。また、逆に地域からの、年中行事や老人会のお誘いもあります。近隣住民との交流は盛んに行われており、密接な関係が出来ています。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員会議で評価結果を話し合い、業務に反映され、出来る事から着実に取り組まれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回開催。行事等の報告や取組について話し合われています。また、話し合われた内容もご家族がホーム内で閲覧出来る様配慮され、さまざまな意見を反映できる体制があります。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市内のグループホーム運営協議会に参加しておられます。また、法人全体でも市町村の関わりが多く、情報を集め、積極的にサービス向上に取り組まれています。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会や行事に参加された時や機関誌の発行等で様子を報告されています。また、ケアプランの変更時には、説明と署名がなされています。ご家族が遠方の場合や面会等遠のいての方へは、電話にて行われています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置。また、事業所内の相談受付担当者、公的団体の相談窓口が重傷事項説明書に明示されています。また、運営推進会議やご家族との話の中での意見等も会議で話し合いがされています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動は極力しない様配慮されています。また、入居者の行動や性格、趣味など、日々の暮らしの全体像が見える様、各職員が日々従事している中で日頃から一覧表を作成し、新任職員が早く対応し、入居者の生活を混乱させない様配慮されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	経験の段階に応じた研修に取り組まれています。また、法人全体で月に1回全体会議やその他、勉強会等も積極的に取り組まれています。また、外部研修での報告会の開催等行われて、職員のレベルアップが図れる様取り組まれています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内のグループホームとのネットワークがあり、同業者との交流を月に1回程度開催されています。また、外部研修にも積極的参加し、質の向上に取り組まれています。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ホームに隣接している同法人のデイサービスやショートステイを利用中に交流の機会があります。また、入居後も、他のサービス利用者の方との交流があります。ご本人の行動を把握し、他者との人間関係を構築出来る様配慮されています。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ご本人の得意な事をして頂くだけでなく、職員も一緒に作業等をされています。また、料理や園芸では、入居者の方が主体的に取り組まれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者自身やご家族から過去の生活の様子や職歴などを聞き取り、個々の得意不得意の把握に努めておられます。また、ホームでの生活は極力ご本人に任せ見守る姿勢でケアをされています。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	個別の記録を読み返し、入居者の日ごろの様子でポイントとなる部分をチェックし、ドクターや関係職員と話し合う事や、ご本人・ご家族の意見を反映し介護計画の作成にあたっています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	月1回、ケアカンファレンスを実施されています。また、ご本人の様子や状態が大きく変われば随時介護計画を見直す体制が来ています。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同一法人内にある他サービスと連携が図られ、行事の参加や園芸など、ご本人の能力に合わせ柔軟な支援が行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人・ご家族の希望するかかりつけ医への受診または往診が可能。緊急時も距離やご本人の状態にもよりますが、極力希望の病院へ受診できる様配慮されています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在、重度化や終末期の対応については、ご家族や関係機関との話し合いで同一法人の特養での対応となっています。	○	同一法人の特養受け入れの体制があり、重度化・終末期に安心してサービスを受ける事が出来ますが、ホーム内で過ごすなど、ご本人・ご家族の希望される場所で迎える事も選択肢としてご検討頂ければと思います。重度化・看取りについて職員間で確認や話し合いをされてみてはいかがでしょうか。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	おむつ外しを積極的にされており、ホーム内での使用者はおられません。また、記録の記入方法や人権に関する事について職員研修で学習し、プライバシー、人権について意識づけをされています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の日程はあるものの、起床時間、食事時間等ご本人のご希望に合わせて、個人のペースに配慮されています。桜の花が咲く頃には、急きょ、外での昼食会となる事もあります。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ご本人の能力に応じ食事の準備や後片付けを入居者の方と職員が一緒に行っています。食事中も、料理の味付けや盛り付けについての話題があり、和やかな雰囲気となっています。食事の献立は基本的には同一法人の栄養士による計画ですが、その他にホーム内でおかずや漬物が出ます。鍋等のご希望があれば変更も可能です。		献立は同一法人内の栄養士が立てていますが、今後はホーム内で入居者の方との献立作成に取り組みたいと考えておられます。是非ご検討いただき、より楽しい雰囲気づくりに期待しています。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	午後から入浴をされています。ご希望によって入浴が可能です。		今後、体制が整えば夜間の入浴の実施も検討中との事です。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ご本人の趣味や性格、職歴などの情報を「あなたの出番」表の一覧を作成されており、その時々で活用されています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や近くの神社へのお参りなど、ご本人の希望に沿って配慮されています。また、ショッピングは月3回程度されています。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室、玄関は鍵が掛ってません。自由に入りが出来ます。門扉については治安上施錠されていますが、インターホンでの呼び出しや、入居者ご家族は暗証番号で自由に入りが出来ます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練を年に数回消防署の立会で実施されています。		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取の大切を職員は徹底されています。食事量も確認し、適宜栄養士、ドクターとも相談されています。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースに季節を感じる生花をさりげなく置かれています。また、居室の窓からは川や桜の木、山が見え季節感が感じられます。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたタンスなどの持ち込みが可能です。また、趣味の道具などもあり居心地よく過ごせる様工夫されています。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。